

第1回嬉野市教育委員会議（定例4月）

平成30年4月23日（月）10:00～11:55

嬉野市役所 塩田庁舎 3-2会議室

1 開会

嬉野市内の学校は安定したスタートができています。先週は全国学力テストが実施され、県内は5月末頃にとりあえずの結果が出ると思われます。

そろそろ5月病などが出てくる時期になるのでこのあたりも気を配るよう指導していきたい。

2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

3 議題

（1）報告

①第1回市内校長研修会について

（教育長） ・4月18日に市内小中学校校長会を実施しました。

教育創新プランは嬉野市基本計画や嬉野市教育大綱に基づいて策定していますが、基本計画や教育大綱は新市長の元で見直しがされるので新しいものに合わせて見直しをしていくこととなります。この中でもこれまで「嬉野っ子輝きアクションプラン27」としていたプランを「嬉野っ子ワクワクデザイン2018」と名称を変えて進めていきたい。

運営ビジョンとしては項目を上げているが一斉に実施するのではなく実施年度を決めて順次実施していく方式を取っています。学校教育の「嬉野っ子ワクワクデザイン2018」や社会教育の「嬉野市民ワクワクデザイン2018」について本日の定例会の中で承認いただければ正式に採用することとなります。社会教育のプラン①は図書館サービス、プラン②は文化財事業、プラン③～⑥は文化スポーツ振興課の事業です。

「嬉野市教育施作実施計画」をわかりやすく「嬉野市の教育」と名称を変えて実施したい。29年度の現状として指標を上げているところなどは数値を変更する必要があります。

（教育部長） ・嬉野市一般非常勤の任用・勤務条件について、学校関係は週30時間勤務での採用です。その他の条件は記載のとおりです。

・実用英語技能検定料補助金については今年度当初予算は骨格予算であるため本予算は計上されていません。第1回目が6月初旬に実施されますがこの分は補助の対象とはなりません。6月補正予算に計上してはいますが予算が付くまでは実施はで

きません。保護者へは通知文を出す予定です。

- ・学校施設改善については、30年度予算として中学校で400万円、小学校で600万円の営繕費用がありますがこれは学校長や学校事務職員と協議して優先順位を付けて実施していく予定です。

- ・学校給食費の徴収については29年度はほぼ100%できています。

(学校教育課長)

- ・県内で発生した教職員の飲酒運転を受けて県教育委員会から服務規律保持の通知があつております。

- ・働き方改革の中で市の学校現場の業務改善計画を策定する必要があり前回の定例会で承認をいただいたものです。小学校・中学校の時間外労働の実績を上げておりますがまだまだ厳しい状況です。

(教育長)

- ・平成30年度学校別教職員配当算定表について、小学校は学級数の1.1倍の教諭の配当がありこれに加配があつています。加配は不登校対応や学力向上対策に関わるもので約30人配置されています。

- ・市費負担職員として事務職員や用務員を教育委員会で採用して入れており、全体で247人の職員がいます。

- ・平成30年度の児童生徒数は2,016人で前年度より38人減ですが、この内半分は県立中学校などへの進学なので自然減は15人ほどです。

- ・教育相談等の参考資料を示しています。

- ・平成30年度重点課題に対する研究部会ですが市内11人の学校長で学校教育課題を分担して部会を担当しています。今回新しい課題として「学校における働き方改革推進部会」が入っていますが、これの主要事項として指導の手引きの有効活用の方策としています。昨年度各学校の指導の手引きをつくってもらいましたのでこれをどう活用するかを取り組んでもらいます。校長先生たちのマネージメントで前年度踏襲ではない取り組みをしていただいています。

- ・学力調査の計画ですが4月17日にすでに実施した文科省関係の学力状況調査などを入れていきます。CRTは小学校1、2、3年生の学力が確実に定着しているかチェックするために2月頃に実施し、学力が不足していれば補充指導を行うものです。

- ・佐賀県教委が実施する学習状況調査が4月と12月に実施されます。

- ・今年度の学校運営協議会委員は前回お示しした方たちに内諾をいただいています。

- ・いじめ防止対策委員会委員の推薦者として示しています。

- ・校長会の充て職を示しています。

- ・子ども学校塾事業について先日今年度の打合せを行いました。非常に前向きに「子

どもたちの指導をしたい」と言ってもらいました。塾の先生方の情報交換の場としても役立っているようです。5月連休明けからスタートしたいと準備しています。

・今年度の研究指定校の活用力向上研究指定事業は吉田小・吉田中が今年2年目です。県の学力向上指定校が轟小が来年度まで。特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究として嬉野小・嬉野中が2年目です。NIE、新聞活用教育は五町田小が指定を受けました。轟小は県の指定ですが、嬉野市も指定校として市費を20万円を上乗せして40万円の事業として実施したいと考えております。

・学校訪問計画ですが6校を予定しています。教育委員の出前トークを実施して学校が抱える課題を教職員や地域の方と話していただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。29年度に実施した内容を掲載しております。

(事務局) ・不登校の推移について、全体的に過去より増加していますがこれは全県的な傾向ではあります。少しでも減っていくように各学校と連携しながら取り組んでいきます。

(教育長) ・いじめの発生状況ですが、12月までの事案はすべて解消しています。
・緊急学校伝達連絡網を「学伝」として作成しています。
・ESD 日米教員交流プログラムについて、吉田中の池田校長が数年前に教員の派遣団としてアメリカに行かれたが、今度はアメリカから来られるとのことで嬉野を中心として受け入れるとの話になっています。6月25日に吉田小学校を見られます。10の方がホームステイをされることとなります。日米の教員の交流をすることとなります。

(事務局) ・29年度全国体力運動能力運動習慣等調査の結果です。対象は小学校5年生と中学校2年生です。小学校5年生の過去4年分の県のデータに全国と市のデータを入れています。種目によって良い結果であるものと悪いものがありますが、あきらかな相関関係はありませんでした。反復横跳びと立ち幅跳びなどの瞬発力を要するものが成績が良いようです。気になるのは女子生徒の肥満度のグラフを見ると嬉野市は肥満もやせも多い傾向があります。

(教育長) ・市体育協会から「かつけっこ教室」を4月29日と5月13日の2回、小学生を対象に市体育館で実施するとの案内がありました。他に親子自転車教室も実施するそうです。これも校長会の中で説明がありました。

②平成 30 年度佐賀県教育施策実施計画

- (教育長) ・本日県でこの件についての会議があり詳しい説明があると思われま
す。県も「知」「徳」「体」三方向バランスよく教育して生きる力を育むとして
おります。
・計画の施策体系として「6つの柱と 21 の課題対応、46 の取組方針」につ
いて今日の会議で説明があると思われま
す。特に重要な点があれば次回報告いた
します。

③ワクワクデザイン 2018 について

- (学校教育課長) ・「嬉野っ子ワクワクデザイン 2018」は学校教育の分野ですが前
回説明をしておりますので今回は説明を省略します。

- (教育部長) ・社会教育分野については「嬉野市民ワクワクデザイン 2018」と
してしております。表題の左側を「うれしの新次代のまちづくりを目指して」
に変更しています。また、目標を「社会教育において『いつでも、どこ
でも、だれでも』学びたいという気持ち
が叶えられ豊かで充実した人生を送ることが出来る『嬉野市民』の育成」と
して
おります。具体的なプランについて説明いた
します。

・プラン①図書館サービス推進事業は 1 から 4 までに変更し、以前定めて
いた 5 図書館通信の充実については 1 に含めています。2 の幼稚園保育園
の後に「等」を加えたのは認定こども園が発足したことによるものです。3
は市民参加型読書活動の推進に変更しています。この中で昨年議員発議で
制定された「嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例」の中に読
書活動推進月間を 10 月とする旨が定められているため「読書活動推進
月間の 10 月を家読推進強化月間と定め積極的に読書活動に取り組める
ような環境づくりに努める」という項目を入れています。家読については
市長の施策にもあるものです。4 のブックスタートについては昨年ど
おりです。

- (事務局) ・プラン②文化財の保存と活用事業について、1 文化財の保存と
活用は「調査研究」を削除し企画展等の開催に力を入れたい。2 伝統芸
能の保存と育成は変更していません。3 埋蔵文化財の保護は「資料収
集」を削除し「乱開発の防止や遺跡等の保護に努める」と変更して
います。4 町並み保存については昨年度同様です。

- (文化スポーツ振興課長) ・文化スポーツ振興課で担当するのがプラン③～⑥
ですが、いずれも大きな変更はありません。プラン③文化の振興と環
境づくり推進事業は文化振興に対する市民の理解を深めてもらうた
めの事業を実施しています。プラン④次世代を担う青少年の育成事
業は子どもたちに様々な体験学習ができる場を多く作っていくた
めの事業を実施しています。プラン⑤生涯学習のまちづくり推進事
業は高齢者の方を対象に講座・教室を充実させ、あたらしい分野につ
いても対応していきたい。プラン⑥ス

スポーツのまちづくり推進事業については子どもから大人までスポーツに関する環境づくりを軸に活動を進めます。プロスポーツを見る機会を増やすために誘致を行ったり、気軽にスポーツを楽しめるような環境づくりを進めたりしていきます。

- ・新しい体育館が来年度4月から開館するが床を国際スポーツで使用される特殊なラバー素材を使うようにしており、今後国際的アスリートを誘致しやすくなります。

- ・先日市長が東京に出向き、全日本女子バレーと柔道全日本女子の強化担当者とぜひ嬉野に来てほしい旨を話をしてくださっています。その際に床についてもPRしています。

(教育長) ・「うれしの新時代の学校づくりを目指して」というのは新市長のキャッチフレーズであり「ワクワクうれしの」という言葉も使われていたので、それらの言葉を生かしてこれまでの取り組みの中に取り入れています。

(〇〇委員) ・イラストでなく写真を挿入した方がより具体的に伝わるように思います。
・虹のイラストは「レインボー」と言っていた時の名残と思われるので変更してもよいかと思えます。

④社会教育・公民館事業等について

(文化スポーツ振興課長) ・組織図を示していますが、教育基本計画にもあるように社会教育の一部であるスポーツ振興、生涯学習、青少年育成に関することを市長部局へ委任されています。しかしながら教育とこれらは切り離すことはできないので教育委員会と市長部局が連携しながら事業を進めているということです。

- ・社会教育、文化振興、スポーツ振興の事務分担を示しています。

- ・嬉野市かがやき大学は高齢者の研修ですが、今年度から塩田嬉野を一つにして開催します。5月15日開校式から10回の講義を行います。各教室も例年通り開催します。出前講座も随時受け付けをしています。年間行事予定表ですが、主な行事は5月のかがやき大学開校式、8月に市民体育大会、9月にスケッチ大会、10月に県民体育大会、12月に子ども文化祭、1月に成人式、2月に青少年育成弁論大会を予定しています。子どもの行事としてスキー教室や山歩き体験、通学合宿も予定しています。

(教育長) ・7月10日「アイスランド共和国に学ぶ」は講師は永田委員です。
・9月のスケッチ大会は今年度は嬉野温泉公園で開催されますがこれまではどちらかというと塩田町で開催されていたもので、塩田嬉野と交互で開催しようとなった

ものです。

(〇〇委員) ・年間事業予定表の高齢者の講座について塩田嬉野が一つとして実施されるとのことですが、文化祭についてはいかがでしょうか。

(文化スポーツ振興課長) ・文化連盟が塩田町と嬉野町にそれぞれあり、現在統一に向けて協議を進めているところです。

(教育部長) ・2月の青少年育成弁論大会について、例年インフルエンザの影響があるので開催時期を変えられないかとの意見もあっていたがいかがでしょうか。

(教育長) ・変えるとしても30年度中に検討して31年度から変更としてもらいましょう。

⑤奨学金貸与について

(教育部長) ・30年度の貸与についてですが専門学校生は申請がありませんでしたのでこの分の予算を大学生と高校生に流用しています。大学生は3人の申請のうち1人は貸与の条件に合わなかったため、他の2人に貸付を新規に承認しました。高校生は4人申請がありましたが、そのうち1人は県立高校への進学が決定したとのことで辞退されましたので残りの3人を新規貸付として承認しております。

⑥その他

(教育長) ・産体育休補助者並びに欠員補充講師、支援員等の一覧を掲載しています。このように配置していることで市内の学校は順当に動いているところです。教育相談員等の配置ですが外国語指導助手については欠員が出ております。適応指導教室指導員2人、特別支援教育支援員14人、スクールソーシャルワーカー1人、小学校英語活動推進員1人で一人欠員、情報教育専門官1人、学校事務補11人、学校用務員が12人、早期支援コーディネーターとして川内丸先生です。
・行政嘱託員を掲載しています。

(文化スポーツ振興課長) ・スポーツ推進委員について、谷口委員が退任されたので新たに山口さんが就任されています。

(教育長) ・自治公民館長については塩田54人、嬉野34人です。塩田代表が塩田区の樋渡さん、嬉野代表が丹生川の辻田さんです。

・西部教育事務所の所員紹介です。

(2) 協議

①学期の制定並びに夏季休業日の制定について

(学校教育課 長) ・小学校は概ね10月9日から2学期のスタート、大野原小は中学校と併せて10月15日からと申請されています。昨年度と大きく違うのは嬉野小が6年生の修学旅行を春から秋に変更とのこと。塩田中は2学期のスタートを体育祭の関係で1週間遅らせるとのことです。

(教育長) ・以前は秋休みを2日間ほど入れていたが保護者からの苦情等があり今はこのような形になっています。異論がなければこの計画で行きたいと思います。

(全委員) ・異議なし

②学校運営協議会委員一覧について

(教育長) ・学校運営協議会について、このように決定しています。

③いじめ防止対策委員会一覧について

(教育長) ・いじめ防止対策委員について、このように決定しています。塩田中、嬉野中のスクールカウンセラーについては明日決定とのこと。

(3) その他

・学習指導要領が変わったことにより個人評価の様式を統一してつくりかえます。情報漏洩防止の対策を校長会等を出していきます。

・次回定例教育委員会 5月25日(金) 10:00～

4 閉会

会議録署名委員
